

浴室・トイレ・洗面所用
(居間・事務所・店舗用)

三菱ダクト用換気扇(カウンターアローファン)

形名 V-100CPL(下面着脱式)・V-100CPLU(側面着脱式)

据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください

正しく安全に据付けて、お使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。









なお「1.安全のために必ず守ること」は据付け上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗などの天井裏に据付け、排気用としてご使用ください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチ(P-04SWLB5)および給排気グリルが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

| | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|---|
|  警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの |  禁止 |  水ぬれ禁止 |  分解禁止 |
|  注意 | 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |  感電注意 |  指示に従う |  アース線を必ず接続せよ |

警告

| | | | |
|---|--|---|---|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ● 内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ● 浴室内にコントロールスイッチを設けない 感電の原因。 ● ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 |  感電注意 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。 |
| |  水ぬれ禁止 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。 |
|  分解禁止 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 |  アース線を必ず接続せよ |

⚠ 注意

| | | | |
|--|---|--|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ● 直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。 火災の原因。 |  指示に従う | <ul style="list-style-type: none"> ● 据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで 確実に行う 落下によるけがの原因。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に 使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。 ● 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って 安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 |

据付前のお願い

据付場所

次のような場所に据付けない。

- 高温（40℃以上）になる場所。
（早期故障の原因となります）
- -10℃以下の冷蔵庫など氷結するおそれのある場所。
- 常時振動したり、振動しやすい場所。
[振動しない強固な場所に据付ける]
（落下や製品の故障の原因となります）

■ 特殊環境

- 温泉、腐食性ガスを発生する場所や化学薬品を扱う場所。
- 爆発性の粉じんやガスの発生する場所または、発生するおそれのある場所。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所。
（寿命が短くなる場合があります）
- 鶏舎・豚舎などのほこりの多い場所。
- 台所のような油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所。
- 燃焼排ガスなどを吸込むおそれのある場所。
- 内釜式風呂を据付けた浴室。排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因となります。

据付け

- プラスチックボディタイプカウンターアローファンおよびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 送風機を確実に据付ける。
据付けが不十分ですと振動・異常音の原因となります。
- 最上階の屋根裏に据付ける場合は、断熱材で室内空間と同じ温度（40℃未満）になるようにしてください。
- 室内温度20℃、湿度50%の場合、本体設置場所が9.5℃以下になりますと、本体および換気ダクトは結露します。
必ず断熱仕様タイプを使用し、換気ダクトにも断熱材を巻いてください。
- 浴室など湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 浴室など湿気の多い所で垂直据付をする場合は、排気側（シャッター側）が上方になる向きに据付けてください。
シャッターが閉じなくなります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

天井・ダクト工事

- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因となります）

● 極端な曲げ



● 多数の曲げ



● ダクト接続口のすぐそばでの曲げ

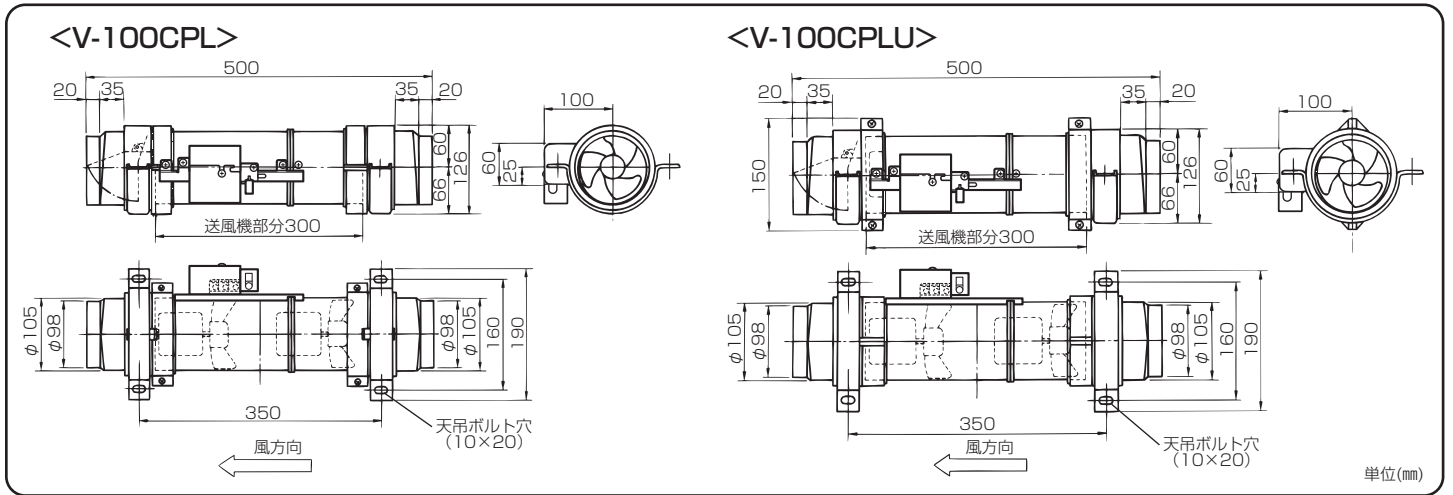


● しぼり



- メンテナンスが行えるように送風機を据付けた天井・壁には保守点検口（口450mm）を必ず設けてください。点検口が設置されていない場合、無償保障期間内であっても製品修理に必要となる天井・壁・その他の取り壊しおよび修理費用は工事店様負担となります。

2.外形寸法図



3.据付例

本品はドレン抜き工事不要です。

お願い

- 結露水が本体およびダクト内に溜まらないように、ダクト配管を行ってください。
- 水平据付の場合は、本体が最も高くなるように据付けてください。

4.据付方法

1 据付前の準備

- 1 据付位置・壁穴位置・天井穴位置を決める。
- 2 外形寸法図の天井ボルト穴位置を参照し、強固な据付場所に市販のアンカーボルト (M8) を埋込む。

2 本体の据付け

本体が水平または垂直になるよう天井金具をアンカーボルトに通し、市販のワッシャー・ナット (M8) にて確実に固定する。

お願い

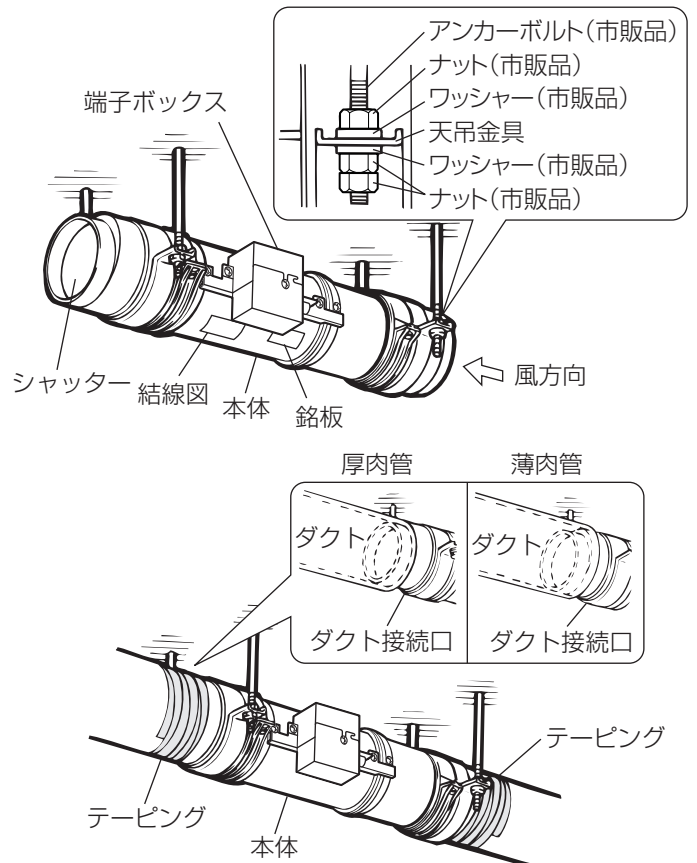
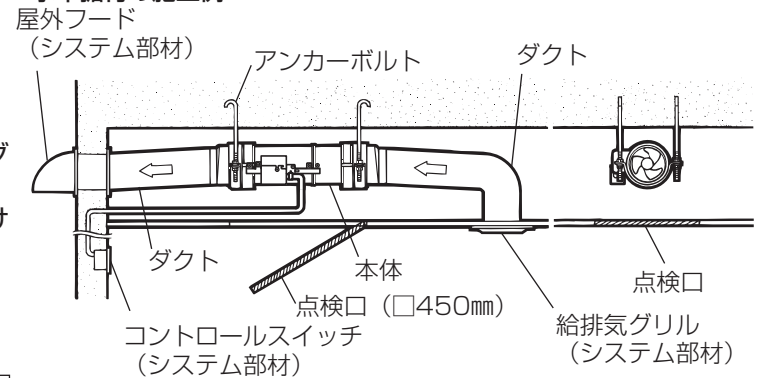
- 上下方向を確認して据付けてください。(水平据付の場合は結線図が下側になるように据付けてください)
- 製品を据付ける際に風方向を確認してください。(銘板に記載してあります)
- 本体を斜めに据付けないでください。振動、異常音の原因となります。
- 浴室など湿気の多い所で垂直据付をする場合は排気側(シャッター側)が上方になる向きに据付けてください。シャッターが閉じなくなります。
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。

3 ダクト工事

- 1 ダクト接続口にダクト(厚肉管を使用する場合は手前に、薄肉管を使用する場合は奥まで)をしっかり差込み、風漏れのないよう外周に市販のコーキング材を施すかまたはテーピングする。

- 2 ダクトは本体に力が加わらないよう吊る。

<水平据付の施工例>



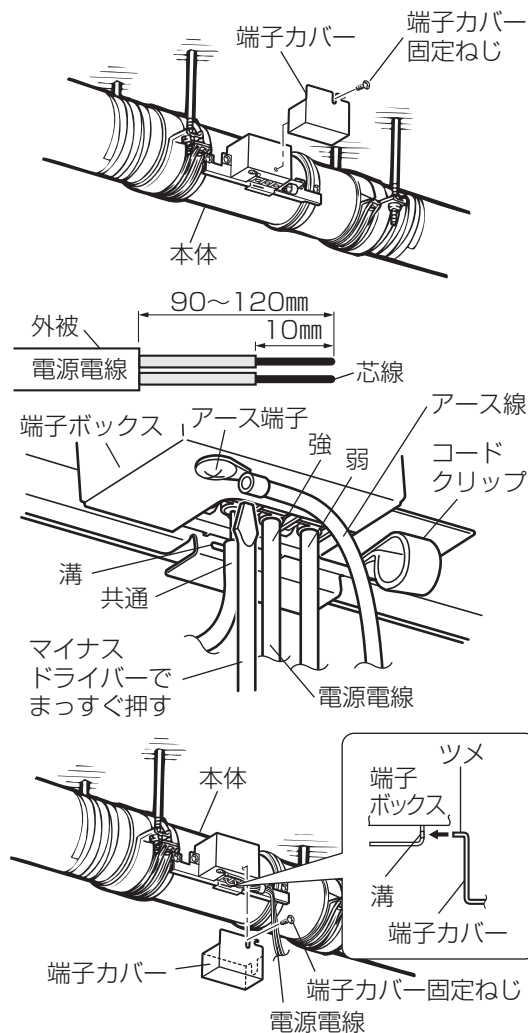
4 電気工事

- 電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。
- コントロールスイッチは、専用のシステム部材(P-04SWLB5)を使用してください。

- 1 端子カバー固定ねじ(1本)をはずし、端子カバーをはずす。
- 2 電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)の皮むきした芯線を速結端子に確実に奥まで差込む。(結線図参照)
- 3 浴室・洗面所などの湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。
また、漏電ブレーカーを取付ける。
- 4 コードクリップで電源電線の外被部を固定し、端子カバーのツメを溝に入れ、端子カバーを元どおり取付ける。

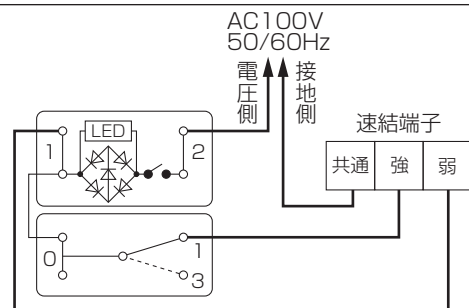
お願い

- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取り付けてから速結端子に確実に差込んでください。(導電部10mm未満の場合、結線部はずれの原因となります)
- 電線被ふきは10mm皮むきしてください。端子ボックスに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
- 電源電線を速結端子よりははずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてははずしてください。
- D種接地工事の際は、単線φ1.6mm、またはより線1.25mm²をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製造(株)製 YHT-2210をご使用ください)



■結線図 太線部分を結線する。

- 市販のスイッチをご使用の場合は、スイッチ部の結線は右記結線図に従って行ってください。
- 速結端子の「共通」と「強」のみに電源電線を接続しても、運転できませんのでそのような結線は行わないでください。
- 結線図は本体下側に貼付けてあります。
- 当社製以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど)やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、あらかじめご確認ください。



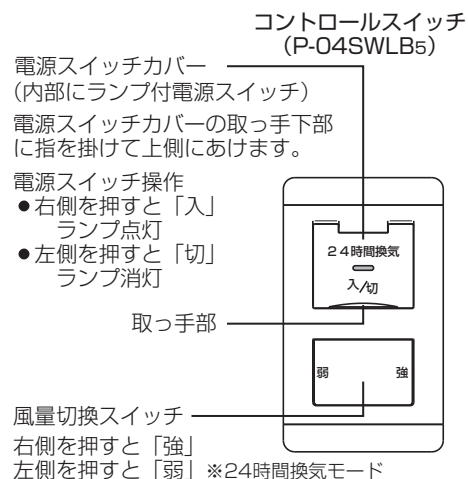
システム部材
コントロールスイッチ(P-04SWLB5)

5 給排気グリルの据付け

別売システム部材または市販の給排気グリルを据付ける。
据付方法は部材に同梱の据付説明書をご覧ください。

6 試運転

- コントロールスイッチがある場合は、切/入、強/弱切替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号